

◎プロフィール

名前：光成 沙也加 (MITSUNARI Sayaka)
隊次：2021年度4次隊 (2022/4~2024/4)
職種：看護師
派遣国：マダガスカル
任地：アンチラベ (首都から南に車で4時間)



◎全国ポリオワクチン接種キャンペーン！

去年も全国的に行っていたポリオワクチンの接種キャンペーンが今年も実施されました。マダガスカルのポリオワクチンは**経口生ワクチン**で、今回からは**大人も対象**になりました(今までは乳幼児~5歳未満の子どものみでした)。

接種キャンペーンは4日間行われ、保健センターのスタッフと保健ボランティア(AC)さんが担当の地域の家を**1件1件歩いて訪問**し、ワクチンキャンペーンの説明をして接種を行っていました。そして接種すると、**爪にペンでマーキング**をしていきます。私はその役目をさせていただきました。ワクチンはとても苦いようで、接種した後の赤ちゃんが、何とも言えない微妙な表情で味を確認していたのが可愛かったです。笑

巡回中に、接種が怖いからという理由でワクチンを拒否する人もいました。その時にあるACさんが、ワクチンについての勉強会を実施した際に配布した資料を使って、ポリオの説明をしてくれていました。勉強会で理解した知識を住民に説明している様子を見ると、住民のために一生懸命働くACさんの意欲を感じました。



ワクチン接種



爪のマーキング

◎村の保健センターで料理デモンストレーション

プロジェクトの再開でACさんに資金が届くようになり、最近ようやく村の保健センターでの料理デモンストレーションができるようになりました。最近ではサツマイモの季節でたくさん取れることもあり、ACさんと**サツマイモのヨーグルト風のおやつ**を作りました。ACさんが朝早くから大豆を潰して一から豆乳を作り、必要な材料も準備してくれていました。

時間になるとお母さんと子どもたちが集まり始め、ACさんがお母さんへ**栄養素の話**をしました。その後、ACさんを囲んで**デモンストレーション**が始まりました。そして子どもたち全員の身体測定が終わった後、お母さんと子どもたちに**試食**をしてもらいました。見た目は映えないので完成した時は微妙な反応でしたが、思っていたよりも美味しかったらしく、簡単に作れるのもいいと好評でした。



ACさんによる栄養指導



デモンストレーション

◎ニーハオから「こんにちは！」へ

私が去年の6月に任地に赴任した頃、家の外に出れば必ず“ニーハオ！”や“中国人！”と言われ、時にはからかわれていました。大通りを通ると、いつも物乞いの子どもたちに“ニーハオ、中国人！”や“お金ちょうだい、食べ物ちょうだい”と言われ、日本人と認識されない悲しさや、物乞いをして生きている現実を痛めていました。

しかし同期隊員と今年の1月から大通りのスーパー前で、物乞いの子どもたちに**手洗い教室**を始めました。その時に“こんにちは”“ありがとう”“さよなら”の挨拶を教えると、最初はポカンとしていましたが、何度か開催し、大通りを通る度に教え込みました。笑

すると、最近は大通りを通る度に、物乞いの代わりに“こんにちは”“ありがとう”“さよなら”と笑顔で言ってくれるようになり、最近では子どもたちと会うのが楽しみになりました。そしてそんな子どもたちを見て、周りの大人たちも日本語で挨拶をしてくれるようになり、子どもたちの影響力はすごいなあと感じています。帰国の時までには、子どもたちの日常になにか刺激や楽しみを作っておあげられたらと思います。



お兄さんたちが紙芝居を
読んでくれているところ



手洗いに並んでいる子ども



泥炭作り中



◎近所の子どもと泥炭作り

私の普段の活動とは畑違いなのですが、休日に近所の子どもたちと**泥炭作り**をやってみました。ほとんどのマダガスカル家庭では、料理の際にカマドと木炭を使用して煮炊きしています。そして、**泥炭は木炭を節約できるので住民からの評判がいい！**と農村で泥炭作りを教えている隊員たちから聞きました。なので今回は、「木炭が高くて大変だ」と漏らしていた家族の子どもも集めました。午前中に子どもたちに必要な材料を伝えると、お昼過ぎにはどこからか材料を集めてきており、子どもたちの**行動力とパワフルさ**を感じました。

泥炭は粘土の土、牛のフン、木炭の粉と水を同じ分量だけ混ぜ合わせて作ります。そして、混ぜ合わさったものを丸めて乾燥させたら完成です。子どもたちは泥遊びをしているかのようにワイワイ言って戯れながら楽しんで作っていました。

後日、木炭が高いと言っていた家族に泥炭を使ってもらおうと、「**泥炭を使うと火が長持ちして、木炭を使う量が減った！**」と喜んでいました。その後、材料を自分たちで集めて泥炭を作ろうとしてくれていました。材料はお金のかからないものなので、少しでも泥炭が普及して支出の節約と森林伐採の削減にも役だって欲しいです。



乾燥させている泥炭